

考察

授業改善

「学校は授業改善に積極的に取り組んでいる」

生徒 70.7% 【73.8%】 1年 83.6% 【82.2%】
2年 58.8% 【64.3%】 3年 58.7% 【74.8%】

「授業はわかりやすい。学習意欲が高まる。」

生徒 69.2% 【59.8%】 1年 78.4% 【63.6%】
2年 64.7% 【48.9%】 3年 59.7% 【66.8%】

「授業は静か。勉強に集中できる。」

生徒 72.3% 【77.2%】 1年 83.6% 【82.4%】
2年 66.7% 【72.3%】 3年 61.0% 【76.6%】

学校の満足度

「金剛高校に満足している。」

生徒 79.5% 【85.0%】 1年 90.3% 【90.5%】
2年 82.3% 【74.5%】 3年 67.2% 【89.4%】

「系・コースや授業は将来の役に立つと思う。」

生徒 89.1% 【88.9%】 1年 97.4% 【96.0%】
3年 84.9% 【83.7%】 3年 80.6% 【86.7%】

安全で安心な居場所、クラスづくり

「クラスやクラブは一人ひとりが大事にされ話しやすい。」

生徒 83.1% 【84.7%】 1年 89.8% 【83.5%】
2年 78.8% 【82.7%】 3年 76.4% 【88.1%】

「先生は問題を見逃さず親身に相談に応じてくれる。」

生徒 74.5% 【80.4%】 1年 81.3% 【85.6%】
2年 71.9% 【72.4%】 3年 67.4% 【83.0%】

人権問題への理解、社会的課題への関心

「人権を学ぶ機会と人権問題への理解。」

生徒 92.7% 【89.5%】 1年 97.3% 【98.7%】
2年 100% 【79.5%】 3年 86.5% 【88.9%】

「総合等での新しい社会的課題を学ぶ機会があった。」

生徒 68.8% 【80.1%】 1年 72.4% 【82.5%】
2年 70.6% 【68.9%】 3年 66.2% 【87.5%】

「HRや発見（総合）で生き方や将来を考える機会があった。」

生徒 88.8% 【90.8%】 1年 95.1% 【97.3%】
2年 94.1% 【87.1%】 3年 81.3% 【87.5%】

☆3年間の人権意識の変化を比較した「人権意識調査」（3年）

a 「人権に関心を持っている。」

3年次 85.4% 【77.3%】 ← 入学次 81.5% 【73.9%】

b 「自分を大切にすることが高まった。」

3年次 78.9% 【77.5%】 ← 入学次 77.8% 【74.7%】

c 「人間関係の大切さを学んだ。」

3年次 92.8% 【92.7%】 ← 入学次 95.8% 【95.4%】

「差別的な言動を見聞きした時、どのような態度をとるか。」

d 『差別を指摘して話し合う。差別はいけないと伝える努力をする。』

3年次 48.0% 【41.9%】 ← 入学次 45.4% 【49.7%】

e 『何もせずに黙っている。』

3年次 10.8% 【15.2%】 ← 入学次 13.1% 【17.0%】

進路指導

「進路について学校は必要な情報や機会を提供している。」

生徒 88.0% 【92.4%】 1年 92.5% 【93.7%】
2年 88.2% 【89.6%】 3年 83.2% 【93.7%】

「進路相談やHRなどで熱心に進路指導している。」

生徒 76.6% 【82.4%】 1年 79.6% 【85.6%】
2年 78.8% 【74.5%】 3年 73.2% 【86.5%】

生徒指導

「学校生活全体の指導は適切である。」

生徒 71.1% 【78.4%】 1年 80.2% 【84.2%】
2年 63.6% 【74.6%】 3年 62.3% 【76.3%】

「遅刻、頭髪、服装、原付等の指導は適切である。」

生徒 63.2% 【64.0%】 1年 74.5% 【68.3%】
2年 67.6% 【61.0%】 3年 50.2% 【62.7%】

学校行事・部活動・生徒会

「学校行事（体育祭・文化祭・修学旅行など）は楽しく行えるよう工夫」
87.9% 【92.6%】

「学校は部活動に積極的に取り組んでいる」 81.1% 【81.3%】

「生徒会・委員会活動は活発である」 77.8% 【76.4%】

<結果と分析>

今年度の最重点課題は、COVID-19 感染防止対応の安全安心な学校づくりであった。昨年度から引き続くコロナ禍にあって、金剛高校の特長を堅持しながら、教育課程の実施、できる限りの行事の実施、自主活動の充実を図った。重点課題としては、年度当初に定めた3点、①オンライン授業の実施、②観点別評価への準備③自主性・主体性の育成である。全体としては昨年度と同程度の肯定的回答を得ている。

授業改善

肯定的回答が大きく上昇したのが「分かりやすい授業」の項目であり、昨年度の最重点課題であった授業改善の効果が表れたものと理解している。加えて9月には1人1台端末を配布、活用したことも反映され、重点課題①オンライン授業の実施が達成できた。

学校の満足度

全体としては8割の肯定的回答を得ているが、修学旅行が中止となった40期生では満足度が7割弱とやや低めとなった。

安全安心な居場所・クラスづくり

「先生は問題を見逃さず親身に相談に応じてくれる」の肯定回答が減少して75%である。生徒に寄り添える時間を増やす工夫が必要。

進路指導

昨年度の3年生に比べ肯定回答が10ポイント程度減少した項目が、「進路情報の提供83%」「進路相談指導73%」である。しかしながら、同集団での2年次からの変化を見ると「進路情報の提供」5ポイント減、「進路相談指導」1ポイント減と減少幅は少ない。3年次での進路指導体制のさらなる充実を図り、入学期生による差がないように「金剛の進路相談指導」として高い肯定率を維持するための努力が必要。

生徒指導

「学校生活全体の指導は適切である」について7割を越える肯定率であるが、2年生3年生で昨年度と比べ10ポイント近く減少している。数値的に測れるもののみではないが、総合的に見て、学年進行につれ、厳しめの指導への肯定率が下がる傾向にある。

学校行事

「学校行事（体育祭・文化祭・修学旅行など）は楽しく行えるよう工夫」

の肯定率が5ポイント減少した原因としてコロナ禍により体育祭・文化祭での保護者入場をやむなく見送ったことなどが要因として挙げられる。

自主活動では、特に、「人権について学ぶ機会があり、人権問題が理解できるように工夫されている」について、2年生で上昇がみられ、肯定的回答が100%であった。本校の核となる人権問題の学習や総合的な学習の時間については、臨時休業によって時間の確保が困難な中、教職員の尽力により高い肯定的評価92.7%を堅持している。生徒たちの持つポテンシャルを引き出せたとと言える。

一方、「新しい社会的課題を学ぶ機会がある」については、肯定的回答が68.8%にとどまった。3年次の授業について新しい社会的課題を学ぶ機会はあるが、その時期や定着の状態について検討する。

また、本校が大切にしている地域連携についても、感染防止のために、中止となり、数値が下降しているが、今後は状況を見ながら、復活させていきたい。